

Enjoy Jazz

エンジョイ ジャズ2023

聴いてみたいけど難しそう…、と書いていても大丈夫!親しみやすい名曲を集めジャズの楽しさをお届けします。

オータム Profile

田中菜緒子 Naoko Tanaka/piano

福岡県出身。桐朋学園大学ピアノ科在学中にブルガリア国際コンクールで1位を受賞。2013年及び2014年自身のトリオにて上海公演を成功させる。2017年7月キングレコードより超高音質録音による初のスタンダード作「I Fall In Love Too Easily」をメジャーリリース。同年10月村田千紘(tp)とのデュオユニット「村田中」による1st作「Selfie」をキングレコードよりメジャーリリース。同年12月アクロス福岡シンフォニーホールにて、九州交響楽団と「ラブソフィー・イン・ブルー」を共演。2019年久留米シティプラザ・グランドホールで開催された福岡インターナショナル・バレエフェスティバル・ガラコンサートに出演。これまでに多数の著名なジャズプレーヤーと共演する中、POPSシーンでもGRAYのTERU&TAKURO、桜井和寿(Mr.Children)、C&Kなど、多くのメジャーアーティストのサポートを行う気鋭のピアニスト。

松島啓之 Keiji Matsushima/trumpet

神奈川県出身。中学時代にブラスバンドでトランペットを始め、ジャズに目覚める。1988年～1991年パークリー音楽大学(米・ボストン)に留学。同期には大西順子、大坂昌彦、山田稔、グラミー賞受賞トランペッターのロイ・ハグロブ等がいる。帰国後様々なセッションに参加し、日野元彦、峰厚介、本田竹廣、小林陽一&グッドフェローズ等のグループで活躍。現在は自己のグループを中心に、人気メジャーグループ「大野雄二&ルパンティックシックス」と「熱帯ジャズ楽団」を兼任する。リーダー作は、ライブ録音による最新作「dedicated to you」を含め5枚を数える。ハードバップ系のスリリングなインタープレイを得意とする本格派トランペッター。

須川崇志 Takashi Sugawa/bass

群馬県出身。11歳の頃にチェロを弾き始め、18歳でコントラバスを始める。2006年パークリー音楽大学を卒業。その直後に移住したニューヨークでは菊地雅章氏に師事する。2009年に帰国後、辛島文雄トリオを経て日野皓正クインテットのベーシストを6年間務める。現在は自身が主宰するBanksia Trio(林正樹、石若駿)をはじめ、峰厚介カルテット等多くのグループに参加。また、日本テレビ系「news zero」のエンディングテーマ曲となった米津玄師の「ゆめうつ」等のレコーディングにも参加する。これまでに東京ジャズ、テトロイト(米)、モントルー(スイス)、プリズベン(豪)、メールス(独)、香港など数多くの国際ジャズフェスティバルに出演。リーダー作は全3作を数える。現渡辺貞夫カルテットのメンバー。

藤井学 Manabu Fujii/drums

広島県出身。14歳からドラムを始め、15歳の時「リッチ vs ローチ」のレコードを聴き、ジャズに目覚める。大学進学を機に名古屋で佐武伸康氏に師事。その後、阿川泰子のバンドメンバーとして、日本テレビ「オシャレ30・30」に出演。2004年アメリカ録音によるリーダー作「I'm a drummer」をリリース。2011年よりサリナ・ジョーンズの全国ツアーをサポート。渡辺香津美、寺井尚子、市川秀男、向井滋春、木住野佳子、矢野沙織、カール・カーター、ティブ・フィンク、バリー・フィナティ等、ビッグネームと多数共演。オール・ジャンルをこなすテクニカルなドラマー。

オータム Autumn

2023.9/10日

15:00開演 14:30開場

～田中菜緒子スペシャルトリオ feat. 松島啓之～

気鋭のピアニスト田中菜緒子率いるスペシャルトリオが
大野雄二&ルパンティック・シックスの松島啓之をゲストに迎えた
極上のステージ!伊勢崎市出身の実力派ベーシスト須川崇志も出演!!



田中菜緒子(ピアノ)



松島啓之(トランペット)



須川崇志(ベース)



藤井学(ドラムス)

【予定曲目】 ルパン三世のテーマ、Autumn Leaves(枯葉)、
Someday My Prince Will Come(いつか王子様が) ほか

(大ホール)

小学生見入場不可

5,500円
日まで

都合がございません。

(休み) 〒370-1105 群馬県佐波郡玉村町福島325



LivePocket-Ticket



玉村町文化振興財団HP

玉村町文化振興財団

